

## 支部だより

### コロナ禍でも“文京らしさ”生かした事業を模索

2022年が始まり、慌ただしい日々が続いておりますが、お元気でお過ごしでしょうか。コロナ禍となってから2年が経過し、変異株の登場による“まん延防止”等の重点措置が続くなど、社会活動はいまも翻弄されております。しかし、こうした中でも、企業として取り組めるべきことには取り組み、新たな活路を見出していかなければならない状況であると思えます。

文京支部では、感染拡大の合間を縫うように、1月17日、後樂園飯店で文京支部新年会を開催しました。会場では、着席式・1テーブル4名・アクリルボードを設置しての交流会となりましたが、支部員および賛助会員ら約20名が出席し楽しいひと時となりました。来賓として東京商工会議所文京支部会長の吉岡新氏もご参列頂いたほか、新年度から賛助会員に加わる予定のリコージャパン株式会社様からもご参加頂きました。

新年のあいさつで今井支部長は、「コロナ禍となり、2回にわたって文京支部恒例の『師走の集い』を中止せざるを得ませんでした。リアルな事業の大半が見送られるなど交流ができない中、昨年12月頃、感染者数の減少という状況を踏まえつつ、ギリギリまで検討を重ね、今回の新年会の開催を決めました。この2年間は独自の行事がなかなかできない状況のため、1年目は組合費を半年分免除しました。今期は支部員の方の支部費の削減、賛助会員様の会費も減免するなど、文京支部ならではの取り組みを行いました。こうした活動ができたのは、これまで長年支えてくださった皆様のご協力あってこそだと感じています。次の定時総会は役員改選となりますが、その時には、リアルで皆さまとお会いできるように、この状況が収束していることを願っております」と述べました。



挨拶する今井支部長



商工会議所文京支部の吉岡会長

#### 賛助協力会 会員企業一覧

(有)インキ屋マイティー	Tel.03-5802-7660	(株)ショーワ	Tel.03-3263-6141
コニカミノルタジャパン(株)	Tel.03-6311-7820	誠伸商事(株)	Tel.03-5751-3011
(株)小森コーポレーション	Tel.03-5608-7804	(株)T&K TOKA	Tel.03-3960-5101
サカティンクス(株)オフセット事業部	Tel.03-5689-6614	(株)モトヤ	Tel.03-3523-8711
(株)桜井グラフィックシステムズ	Tel.03-3643-1131	リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)	Tel.03-3927-1031
(学)日本プリンティングアカデミー	Tel.03-3811-2734	(株)大塚商会	Tel.03-3514-7625

## 支部活動について

### ① 定時総会を、5月16日、東京ドームホテルで予定しています

新年度の総会開催に向けて、準備を進めております。日程は、5月16日（月）、東京ドームホテルでの開催を予定しています。詳細については、改めてご案内します。なお今回の総会は、任期満了に伴う改選期でもあるため、皆様のご協力をお願いします。

### ② 「全印工連DX-PLAT」をテーマにAブロックセミナー開催

昨年12月6日、文京支部が主幹となって東印工組Aブロックセミナー「全印工連DX-PLATの全容～印刷産業の未来を拓くデジタルトランスフォーメーション～」を、御茶ノ水トライエッジカンファレンス会場とオンラインのハイブリッド形式で行いました。講師に、DX推進プロジェクト委員会の福田浩志委員長を招き、全印工連のDX推進事業について解説されました。福田氏はDX推進事業について、「印刷産業の構造を変えたいとの思いから取り組んでいます。単にデジタル化するという話ではなく、産業構造を変え、企業の動かし方を変えていく。それにより企業文化を変え、競争優位に立ちましようという取り組みなのです」と語りました。DX事業で主に目指しているのは、『生産性向上』と『付加価値創造』の2つ。中小規模事業者でも使える仕組みを組合の力で構築すべく、経済産業省の補助金J-LOD（コンテンツグローバル需要創出促進・基盤強化事業費補助金）の活用、協力会社とのコラボレーションなども活用しつつ、付加価値創造のための組合員間受発注システム（JSP）、生産性向上のための生産管理システム（JWF）、経営の見える化のための基幹業務システム（MIS：昨年末は開発中）を開発しています。

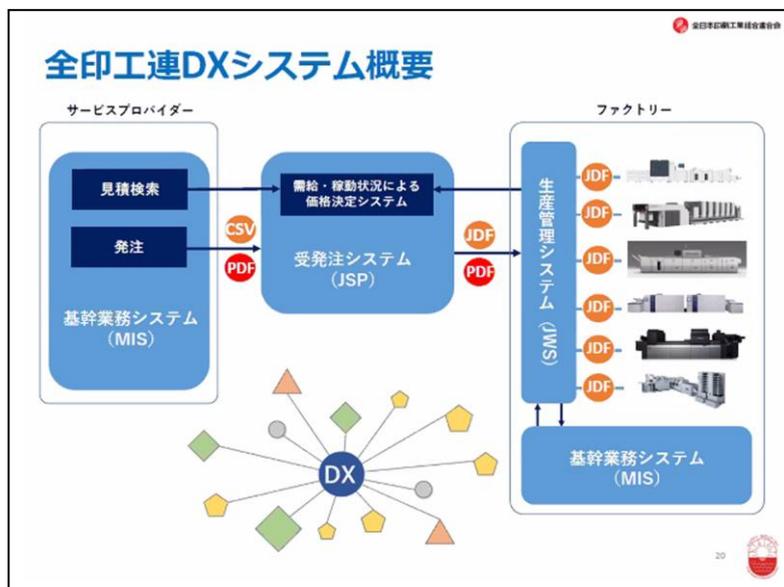
目指すのは、これらの仕組みを使い、限られた経営資源の中でも各社が得意分野に力を集中させ、生産協調ができる体制を整えていく“印刷版DXジョブシェアリング”です。なお現在、全国モデル地区で複数のDX-PLATのトライアルが実施されていることも紹介されました。

### ③ 支部活動支援金が支給されました

本部から、支部への協力金が振り込まれることになりました。昨年度は、アルコール消毒液や一律1万円の現金振り込みなど直接的な支援でしたが、今年度は支部員数やセミナーの開催に応じて支給されることになり、文京支部では約13万円の協力金が支給されます。支部運営費として活用する予定です。



講演する福田氏



## 業界関連の話題

### ① 東印工組の新春の集い

東京都印刷工業組合は、1月11日、東京都千代田区のパレスホテル東京で「令和四年新春の集い」を開催しました。新年のあいさつにたった滝澤理事長は、「東印工組は昨年、東京中小企業団体中央会の委託事業である『新しい日常対応型業界活性化プロジェクト』で『中小印刷会社向けクラウド型共通基幹業務システム構築による業界活性化プロジェクト』を企画提案し、受託事業者として採択された。年度末までの事業完了を目指し、開発を進めている。変化する経営環境のもとではあるが、今が好機と捉え、これまでの枠を超えたさまざまな角度と視点から新しいネットワークの構築と価値の創造を目指して諸事業を推進していく」と述べました。



挨拶する滝澤会長

来賓として、東京都の小池百合子知事から寄せられた動画メッセージの披露、東京都議会の三宅茂樹議長による祝辞、国会議員や東京都印刷産業議員連盟議員による挨拶、新加入組合員の紹介と続き、白橋明夫副理事長による乾杯の音頭で歓談となりました。

### ② 厚生労働省の休業支援金・給付金（従業員）など活用できる助成金を確認しましょう

厚生労働省では、中小企業に働く人に対する「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」の対象期間等を延長し、令和4年3月末までとなりました。この制度は、新型コロナウイルス感染症及びそのまん延防止の措置の影響により休業させられた労働者のうち、休業中に賃金（休業手当）を受けることができなかった人に対して支給するものです。従業員が直接申請できるもので、事業主は休業の事実について確認するための書類の作成を協力するだけで金銭的な負担はないので、活用を勧めることも従業員への一助になります。

一方、事業主が申請する雇用調整助成金の特例についても発表されております（令和4年2月5日）。緊急事態宣言の実施地区、またはまん延防止など重点措置の対象区域（職業安定局長が定める区域）において、知事による営業時間の短縮などの要請等に協力する企業についての助成率が中小企業雄の場合、最大10分の10に引き上げる特例が適用されます。都内全域は、まん延防止等重点措置を実施すべき区域（対象期間：令和4年1月21日～3月31日）に該当します。いずれも厚生労働省のホームページで詳細が確認できます。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/index.html)

### ③ 重要事項の載った廃紙の処理のサービスが終了しています

平成17年より組合員企業から出される機密情報の適正処理を推進することを目的に運営していた「重要事項の載った廃紙の処理サービス」において、利用者の減少に伴い、令和3年11月でサービスが終了しています。希望する会社は、回収業者と直接、契約を結んで利用してください。

【排出物共同回収処理システムを利用している組合員の方：文京支部の場合】

㈲リサイクル・ジャパン TEL/FAX 03-5392-2351

【排出物共同回収処理システムを利用していない組合員の方】

㈱富澤 TEL 048-225-4302 / FAX 048-226-2044